



CPDポイント:2.0

地盤・土構造物の荷重抵抗係数設計法 —設計の基本概念とキャリブレーションの実際—

世界貿易機関（WTO）の貿易の技術的障害に関する協定（TBT協定）を契機に、国内の設計法が見直され、慣用的な許容応力度法・安全率法に代わり、限界状態設計法（信頼性設計法）が主流になりつつあります。設計体系の変化に柔軟に対応し、国際的に通用する技術者になるためにも、限界状態設計法の考え方や具体的な方法論について学ぶことは重要なことです。

本講習会では、限界状態設計法・信頼性設計法の分野において国際的にご活躍されています宮田喜壽先生〔防衛大学校教授〕をお招きし、地盤・土構造物を対象とした限界状態設計法についてわかりやすく解説して頂きます。若手技術者のみならず、ベテラン技術者にもお勧めの内容ですので、ふるってご参加ください。

記

【日 時】 2013年11月19日（火） 16:15～18:15

【会 場】 岡山大学環境理工学部棟1F 104講義室(岡山市北区津島中3-1-1)

【定 員】 100名

【プログラム】

時間	内容
16:15	開会挨拶
16:20～18:00	地盤・土構造物の荷重抵抗係数設計法 宮田 喜壽【防衛大学校教授】
18:00～18:15	意見交換

【会 費】 会員@2,000円, 非会員@4,000円

【申込み方法】 氏名, 勤務先, 連絡先(住所/電話番号/メールアドレス), 会員(会員番号)・非会員の別を明記して, 下記申込み先まで E-mailにてお申込みください。

【申込み先】 岡山大学大学院環境生命科学研究科 珠玖隆行

E-mail: shuku@cc.okayama-u.ac.jp

TEL: 086-251-8161 FAX: 086-251-8881



このプログラムにご参加の方には、地盤工学会よりCPD2.0ポイントが付与されます。

取得されましたポイントは、建設系CPD協議会へ加盟している団体のCPDに換算することができます。詳しくは、ご所属の団体事務局、または中国支部(chugoku@jiban.or.jp)までお問い合わせください。